



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健
 学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/~kivosedai/gov/wuzakku/index.htm>

2026年から始まる新たな取り組み

2nd GIGA & [おうち図書館] 学校宅配



始業式・入学式から、はやくも4週目が過ぎました。4月27日の保護者会には、160名を超える方々に、ご参加頂き、保護者の皆様の教育活動への意識の高さに、教職員一同感謝申し上げます。

R8年度は、清瀬市の教育が大きく動きだす年となります。R8年3月に「第3次清瀬市教育振興基本計画」が告示されました。これはR8年度からの10年間における清瀬市の教育に関する基本方針を示すもので、H18年に告示された「清瀬市教育総合計画マスタープラン」、H29年の「第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン」に続くものです。詳細につきましては、市教育委員会HPに掲載されていますのでご覧下さい。そしてさらに来年3月には、文科省より次期「学習指導要領」が告示される予定です。



これからの教育は、AIの急速な進歩やグローバル化といった社会情勢の変化などを見据えて、大きく方向性が変わる様相です。特に「探求的な学習」や「個別最適な学習・協働的な学び」などがさらに重要視され、「教わる」から「学ぶ」への意識改革が強く必要になります。生徒たちには、自ら課題を設定して、学び方を選択し、実行していくという学びのスキルを培ってもらうことが大切になります。新学習指導要領の完全実施はまだ先ですが、来年度から移行準備がはじまります。そのため、本年度から新しい方向へと舵を向ける必要があります。

学力には「生きて働く/知識・技能」「未知の状況にも対応できる/思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力など」の3つ軸があります。主に生徒同士の協働的な学びで培う思考力や表現力、予習や復習などの繰り返し学習で強固にしていく知識・技能、初発の学びに向かう好奇心など、どれも授業だけで身に付けられるものではなさそうです。そこで本年度より、3つの試みと、1つの市の事業を始めます。

1. GIGA 端末の常時持帰り：家庭学習に活用してもらい、知識・技能の定着を深めましょう。

家庭学習の手立てとして、授業で使った資料やレポートの振り返り、ミライシードなどのドリル学習、デジタル教科書等を活用しての予習や復習に活用ください。お手数ですが、ご家庭での充電をお願いいたします。

2. 定期考査年4回実施：授業での協働的な学習等を通して、思考・判断・表現力を高めましょう。

定期考査の間隔を約2ヶ月にして、授業の慌ただしさを軽減すると共に、授業時数を確保することで、学び合う機会を多く設定できます。現在の評価・評定は、定期考査よりも小テストやレポート、成果物、学習のようすなど、日常の学習に比重が移っており、生徒の皆さんも、テストのための勉強から、日頃の学習へ、意識の重きを移すことがポイントです。受験のある3学年は学習リズムの変化に戸惑うといけませんので、今年は5回実施します。

3. 学年毎に領域別テスト実施：継続的な学力の成長を知り、より良い進路につなげましょう。

定期考査や評価評定は、授業内容に関する内なる評価であり、身につけた学力が、外で出会う初見の未知なる課題に対して、どのくらい活用出来るのかを試して、強化することは大切です。また、3年間の継続的な成長を知ることで、より良い進路に繋がられます。1・2年は年2回、3年は3回の実施を予定しています。費用負担をお願いすることになりますが、ご理解ください。



● おうち図書館/学校宅配【市事業】：読書力を培い、一人ひとりが異なる知識を持った個性を育てましょう。

小学校では昨年度より始まっていますが、学校で市立図書館本の貸出・返却ができる事業です。図書室で出会った本や作家、知識などをさらに深めたくなった時、自分のGIGA 端末で図書館HPにアクセスして、学校図書室にない本に出合えます。上手く利用して、読書の世界が広がって下さい。1年生は図書館カードを持っていますので、近々利用が始まります。2・3年生は図書館カードの作成後の2学期以降での利用開始になります。

“流れ星”そして“Blue Moon”を見ませんか？

流星群 5月の連休中「みずがめ座η (イータ) 流星群」がやってくる。

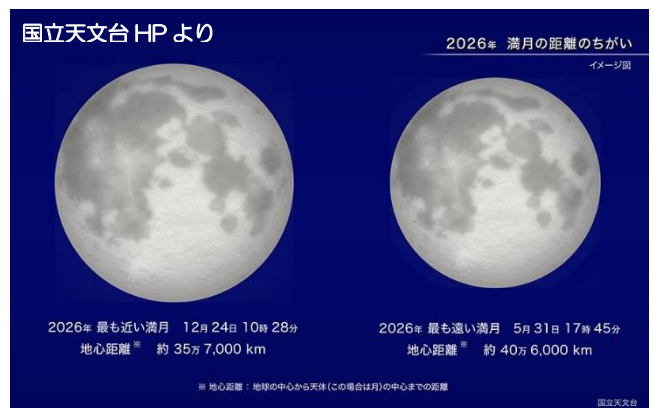
前号でご紹介した「パンスターズ彗星」「火水土星の三角形」は、やはり難易度が高かったようです。東京は街明かりがあり、春は星を隠す雲が出やすい季節でもあり、そのような条件の中、さらに朝方の東の低い空での観測だったので、見つけるのは難しかったです。さて、今週末からは春の5連休ですが、毎年この連休中に、みずがめ座流星群の極大日があります。みずがめ座のイータ(η)星の近くに、流れ星が飛び出してくる輻射点があり、みずがめ座イータ流星群と呼ばれています。ちなみに、みずがめ座には7月に活動するもう一つの流星群があり、こちらは、みずがめ座デルタ(δ)流星群と呼ばれています。

月明かりで条件は悪いですが、見頃は、5/6(水)・7(木)の未明～明け方！

今年は、満月を過ぎたばかりの明るい月があり、観測の邪魔をしています。極大日は、5月6日(水)18:00頃と予想されています。この時期、みずがめ座(秋の星座)が東の空に昇ってくるのは夜半過ぎで、観測に良いのは、午前2時30分過ぎから、日の出前の2時間くらいです。月明かりもあり、見つけられるのは、1時間に5個程度と少なめの予想です。流星群は、彗星が宇宙空間にばら撒いた塵が、原因の一つだと考えられていますが、みずがめ座流星群の母彗星は、10月のオリオン座流星群と同じ、ハレー彗星だと言われています。次回、ハレー彗星がもどってくるのは、35年後の2061年(夏)です。生徒の皆さんが50才頃と、ずいぶん先の話です。

満月 今年の5月には、2回目の「満月」があります。5/31(日)

基本、満月は一か月に1回なのですが、時折、2回の満月がやってくる月があります。月の満ち欠け(月の公転)周期は、約29.5日のため、354日で12回まわります。1年は365日なので、毎年11日分ずれていきます。そのため、ひと月の最初の日あたりが満月になると、月の最後にもう一度満月になる日がやってきます。2年半～3年くらいおきに起こる現象です。この2つ目の満月は、ブルームーンと呼ばれるそうです。この呼び名がどのように付いたかは諸説あるようですので、ネットなどで調べて見て下さい。



2026年で最も小さい満月です。

今回のブルームーンは、2026年の中で、もっとも地球から遠くにあり、見かけの大きさが小さい満月です。

願い事 流れ星と、ブルームーンに、願いをかけませんか？

日本では馴染のない話ですが、この月を見ながら「願い事をする、願いが叶い、幸せになる」と言われているそうです。流れ星にも「流れている間に、願いごとを3回唱えると、願いが叶う」という伝承がありますが、たいていの流れ星は1秒以下の出現なので、こちらを達成する難易度は高いです。稀な現象ですが、大きな流星が流れた後に、流星から出たガスなどが、ほんのりと発光する痕(こん)と呼ばれる現象がありますので、それは数十秒続きますので、十分に3回唱えることができます。

連休中と、5/31の夜に、流れ星とブルームーンの両方に、願いをかけてみませんか？

【関連ホームページ】

①「ほしぞら情報 2026年5月」：国立天文台HP

※2026年 地球から最も遠い満月(2026年5月)

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2026/05-topics02.html>

②「流星群とは」：国立天文台HP

※動画で、流星群の成り立ちを解説

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/meteor-shower.html>

①



②

